

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則62条第2項の規定により通告します

2021年11月19日

議席番号 25番

東村山市議会議長 あて

質問者 さとう直子

記

コロナウイルス感染拡大の長期化が市民生活に大きな影響を及ぼしています。市民のくらしが大変な時こそ、自治体として何ができるのか、何を優先すべきなのか、そして自分自身が議員として何をしなければならないのかを改めて考え直す機会にもなったのが、今回のコロナ禍ではなかったかと思い以下質問します。

1. 国保税の値上げの再考を求める

1) コロナ禍で国保税の減免、猶予について状況を伺う。

- ① 2019年、2020年、2021年のそれぞれの国保税の減免の申請件数・認定件数・認定された国保税の額を伺う。
- ② 国保加入世帯の所得の推移を3年経年で伺う。
- ③ ②の所得の推移をどのように分析しているか伺う。
- ④ 1)と同じ2019年から3年間の国保税の納入猶予の申請件数・認定件数を伺う。
- ⑤ 猶予を受けた世帯のその後の納入状況を伺う。
- ⑥ 国保財政の健全化に向けた計画では、2022年度は保険税率を見直す計画となっており、11月9日に行われた国保の運営協議会に改定案(値上げ案)が諮問されている。コロナ禍で国保税を引き上げるとはさらに市民生活を圧迫するものとする。再考は検討しないのか見解を伺う。

2. 国保税の多子世帯の均等割り軽減を求める

1) 未就学児の均等割り軽減の影響額について伺う。

- ① 国では未就学児に係る均等割りの5割を軽減するとしているが、当市の対象となる未就学児の人数と市の負担額を伺う。
- ② 当市の国保加入世帯の子どもの被保険者数を伺う。
- ③ ②の子どもの被保険者数のうち、未就学児と6才から12才、13才から15才、16才から18才のそれぞれの人数を伺う。

- ④ 子どものいる世帯のうち、2人以上、3人以上の世帯数を伺う。
- ⑤ 共産党は子どもの均等割りをなくすべきと考えるが、さしあたって、第2子半額、第3子以降を無料にすることを提案しているが、子育て世帯の負担軽減と、少子化対策として今後、市として検討する考えはあるか伺う。

3. コロナワクチン接種の状況について

1) コロナワクチンの接種状況について

- ① ワクチンの接種率をどのように設定していたのか、その接種率の実績はどのようになっているのか伺う。
- ② 高齢者の接種率及び高齢者の接種完了時期を伺う。
- ③ 接種を希望していても予約が取れないという声を多数聞いていたが、10月以降は、予約も取りやすくなっているとの報告もあった。しかし、インターネット予約ができない方や、電話がつながっても耳が遠くて会話の内容が聞き取れず、予約をあきらめた等の声を聴いている。そういう方の対応について、市はどのように対応したのか。希望者はすべて接種できたのか伺う。
- ④ ③をふまえて3回目の接種に向けて、今後の対応をどうするのか、これまでの課題をどのように改善するのか、対策を伺う。